

けいはんなオープンラボ研究推進協議会  
第3回ヒューマンコミュニケーション分科会 議事録（案）

日時： 平成17年4月7日（木）13:00～15:00

場所： 情報通信研究機構けいはんなセンター大画面実験室

出席者（順不同，敬称略）：

木戸出正繼，田中克己，美濃導彦，井佐原均，柿元俊博，福留五郎，松井くにお，大橋忠正，伊藤正也，蚊野浩，阿部真，荒木禎史，池野篤（代理出席），山本大介（代理出席），中川雅通（代理出席），柏谷篤（代理出席），呂煜鉉（代理出席），山本稔（代理出席），松島裕一，猪木誠二，山崎達也，白土保

配布資料：

資料 HC-3-1 第2回ヒューマンコミュニケーション分科会議事録(案)  
資料 HC-3-2 協議会の体制図  
資料 HC-3-3 協議会会員名簿  
資料 HC-3-4 ヒューマンコミュニケーション分科会，WG名簿  
資料 HC-3-5 コンテンツ融合環境プロジェクト報告  
資料 HC-3-6 コンテンツ融合環境WG報告  
資料 HC-3-7 ユニバーサルユーザ利用環境プロジェクト報告  
資料 HC-3-8 ユニバーサルユーザ利用環境WG報告  
資料 HC-3-9 言語情報活用システムプロジェクト報告  
資料 HC-3-10 言語情報活用システムWG報告  
参考資料 HC-3-A 平成16年度コンテンツ融合環境プロジェクトトピックス

議事概要（敬称略）

（1）リーダーご挨拶

木戸出）今年度末で本分科会は区切りを迎えるので，この1年で我々の存在価値をどう打ち出せるか，いかにして今後につなげていくか等を中心に議論頂きたい。

（2）事務局報告

白土）協議会の最新の体制などについて報告。

（3）プロジェクト報告質疑応答

（3. 1）コンテンツ融合環境プロジェクト・WG報告（田中プロジェクトリーダーより報告）

木戸出）社会に対する成果品は？

田中）個別の研究毎に異なるが，例えばNHKとの共同研究はオープンソースにすることを検討。

（3. 2）ユニバーサルユーザ利用環境プロジェクト・WG報告（美濃プロジェクトリーダーより報告）

木戸出）ネットに接続されているアプライアンスの総数は？

山崎）センサを含め10個程度

木戸出）一般家庭へ応用するためにはあと幾つ位あれば良い？

山崎）照明，インターフォンなど複数追加することも検討

柿元）ユビルームでは様々な個人情報計測されるが，プライバシーはコントロールできる？

美濃）家族間でもプライバシーは在ると考えるのでこのコントロールは必要。基本的に生データは見せないようにすること等が必要。利便性とのトレードオフを考慮しながら設計することが重要。

（3. 3）言語情報活用システムプロジェクト・WG報告（井佐原プロジェクトリーダーより報告）

木戸出）日本人以外のメンバは？

井佐原) 中国, 韓国の研究員が常駐。N I C Tタイラボでも研究。

木戸出) メンバ募集はオープンか

井佐原) 基本的にオープン。

#### 4. その他

木戸出) 今後の分科会のあり方は?

猪木) 現在, 来年度開始のN I C T次期中期計画を検討中であり, 分科会の今後のあり方はそれとの関連で決まって行くことになる。

柿元) 現在の分科会メンバには地方行政からの参加者がいない。地方行政からも参加してもらってはどうか?

猪木, 木戸出) 積極的に声を掛けていく。

柿元) プロジェクトが動き出した後は, WGは不要なのではないか?

田中) WGの位置づけが不明確。アピール等の役割を持たせるならば, 協議会の中のより上位の組織で機能させる等すればよいのではないか?

美濃) プロジェクト内容は実質的にはN I C Tが決める部分が多いので, WGの活動がWGメンバにとってどう良いことがあるのかが不明確。WGメンバに気の毒。

柿元) 高機能NWのプロジェクトではN I C Tけいはんなセンターに結集するメリットがあるが, HCのプロジェクトではそのようなメリットが見えにくい。

猪木) そのようなメリットを出すために, 施設整備などを含め今後とも最大限バックアップしていきたい。プロジェクトとWGのあり方は今後とも議論したい。

以上